

一市ヶ谷キャンパスの歴史一

1880年に東京法学社として設立された本学は、1920年に大学令に基づく大学へと昇格、その翌年（1921年）に麹町区富士見町に校舎を新築し移転しました。この地が現在の市ヶ谷キャンパス（千代田区富士見）です。



1940年頃、第一校舎と外濠に浮かぶボート

戦後の法政大学は、焼け跡に校舎を建てていきました。特に1955年、58年に竣工した「55・58年館（2019年解体）」は、社会の大きな注目を集め、戦後の法政大学を象徴する校舎となりました。



1970年代後半、53・55・58年館、図書館、学生会館

2014年から市ヶ谷キャンパスの再開発工事が始まり、新校舎の「富士見ゲート」「大内山校舎」、そして風がよく通る中庭が、2021年1月に誕生しました。



ミュージアム・コア

〒102-0073

東京都千代田区九段北 3-3-5 九段北校舎 1階

TEL | 03-3264-6501

ミュージアム・サテライト

市ヶ谷キャンパス

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

法政大学市ヶ谷キャンパス

外濠校舎 6階 / ボアソナード・タワー 2・6階

小金井キャンパス

〒184-8884 東京都小金井市梶野町 3-7-2

法政大学小金井キャンパス西館 1階

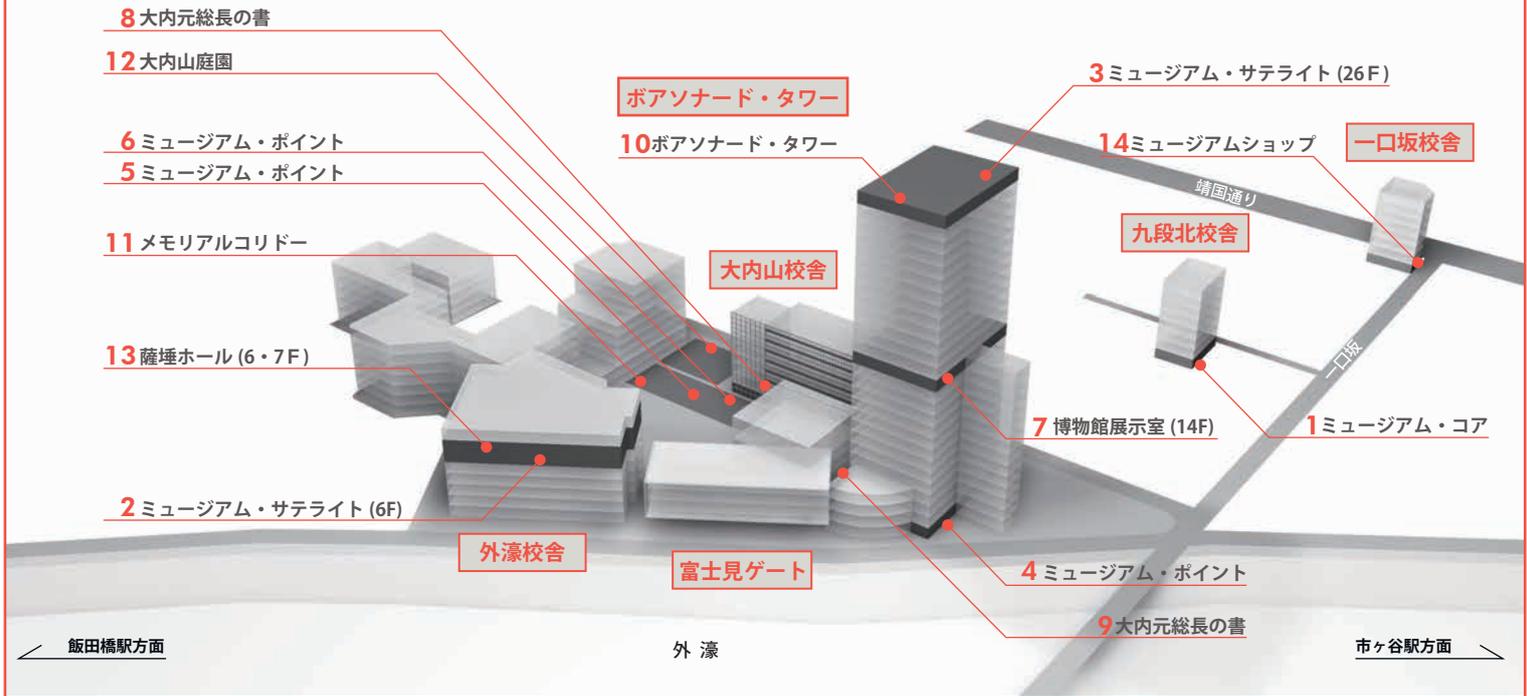
(2021年度開設予定)

多摩キャンパス

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

(計画中)

MUSEUM MAP



1 | ミュージアム・コア

九段北校舎 1階

Museum Core

ミュージアムの中心的な機能を有する場所です。大学史展示、テーマ展示の二つのゾーンから構成します。



大内元総長の書

- 8 大内山校舎 1階ロビー
- 9 富士見ゲート 1階学生ホール

「学而不思則罔 思而不学則殆」これは「論語」(為政第二)の一節で、55年館511教室前に掲げられ、本学の教育理念や精神を指し示してきました。壁の一部とともに大内山校舎1階に移設されました。また58年館学生ホールに長く掲げられ、511教室前の掲示と対をなしていた「論語」(学而第一)の一節「有朋自遠方来不亦乐乎」は、現在富士見ゲート1階学生ホールに復元掲示されています。



ミュージアム・サテライト

- 2 外濠校舎 6階
- 3 ボアソナード・タワー 26階

Museum Satellite

ミュージアム・コア機能と連携し、企画展示や特別展示を行うため、外濠校舎6階とボアソナード・タワー26階に展示スペースを設けています。



10 | ボアソナード・タワー

11 | メモリアルコリドー

キャンパス中央広場

「ボアソナード・タワー」の名称は、本学草創期の恩人ボアソナード博士に由来します。タワーから続く回廊が「メモリアルコリドー」です。55・58年館の跡地に設けられ、その床面の図柄をモチーフに塗装を施し、柱の跡にはスツールを置きました。



ミュージアム・ポイント

- 4 ボアソナード・タワー1階ロビー
- 5 メモリアルコリドー中央
- 6 メモリアルコリドー内ベンチ

Museum Point

市ヶ谷キャンパスの成り立ちや戦後の法政大学を代表する校舎であった55・58年館についての説明プレートを設置しています。また、メモリアルコリドー内のスツール座面には、HOSEI ミュージアムへと誘うQRコードを設置しています。



12 | 大内山庭園

大内山校舎東側

58年館に面し築山を有した日本庭園は、同館建設当時の大内兵衛元総長の名前にちなんで「大内山庭園」と呼ばれていました。新校舎大内山校舎隣接地に再現されました。



13 | 薩埵ホール

外濠校舎 6・7階

「薩埵ホール」の名称は、本学創立を担った薩埵正邦の名に由来しています。



7 | 博物館展示室

ボアソナード・タワー 14階

博物館学芸員課程が運営する展示室です。学生の実習の成果としての企画展示や、ミュージアム・コアなどと連携した特別展示の期間に開室します。



14 | ミュージアムショップ

一口坂校舎 1階

一口坂校舎1階情報発信スペース(本学学生会エイチ・ユー運営)内で、ミュージアムのオリジナルグッズを取り扱っています。

